



平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 27 年 11 月 10 日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <http://www.oisix.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 小崎 宏行 (TEL) 03(5447)2688
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	9,375	12.1	261	191.5	279	177.9	177	218.4
27 年 3 月期第 2 四半期	8,366	13.4	89	△75.7	100	△74.0	55	△75.8

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28 年 3 月期第 2 四半期	29	82	27	87
27 年 3 月期第 2 四半期	9	63	8	77

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	6,520	3,984	61.1
27 年 3 月期	6,331	3,777	59.7

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 3,984 百万円 27 年 3 月期 3,777 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
28 年 3 月期	—	0.00	—	—	—	—
28 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,000	10.7	750	15.6	770	15.1	480	38.2	80.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	6,004,084株	27年3月期	5,920,324株
28年3月期2Q	－株	27年3月期	－株
28年3月期2Q	5,966,979株	27年3月期2Q	5,800,562株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第 2 四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、世界経済の下振れリスクなど不透明感が懸念されております。個人消費におきましては、お客様の選別の目が一層厳しくなる傾向が顕著になってきております。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、中国産食品の安全性の問題や異物混入問題、食品偽装問題など、食の安心・安全に関する消費者の意識は引き続き高い状況にあります。

EC業界を巡る動きとしては、大手EC事業者や大手流通企業が、引き続きネット・スーパー事業強化に取り組む中で、一部ではネット・スーパー事業からの撤退を決める事業者も出るなど、競争環境に変化が見られます。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品EC市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO（Search Engine Optimization 検索エンジン最適化）・SEM（Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング）の強化やFacebook等のSNSを活用した顧客開拓、お客様の嗜好や属性に合わせたWebページ作成による顧客転換率の向上を図るほか、イベント等を通じた対面での勧誘を強化することにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に引き続き注力いたしました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱い拡大や、単品定期購入サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも注力いたしました。

併せて、海老名配送センターを中心に業務効率・コスト効率の改善を図るなど収益基盤強化に努めるとともに、平成27年5月より、当社のノウハウを生かしたEC実行支援サービス「オイシックスフルフィルメントマーケティング実行支援（略称：オイフルMJ）」を開始するなど、新規サービスの育成にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は9,375,312千円（前年同期比12.1%増）となりました。利益面では、営業利益は261,512千円（前年同期比191.5%増）、経常利益は279,238千円（前年同期比177.9%増）、四半期純利益は177,944千円（前年同期比218.4%増）となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

[EC事業]

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うEC事業においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成27年3月末）の96,718人から、当第2四半期会計期間末（平成27年9月末）には102,780人へ増加しており、概ね計画通りに推移しております。

平成25年7月より開始した、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方向けに、安心・安全な献立が20分で完成するプレミアム時短サービス「KitOisix」を毎週お届けする定期宅配コース「KitOisix献立コース」の会員が、平成27年9月に23,000人を超え、累計販売数は1,500,000キットを突破しております。

このほか、お客様の購入単価向上のための取り組みとして開始した高付加価値ブランド食品を当社サイトにて取り扱うサービス「Oiチカgourmet」を引き続き展開しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるEC事業の売上高は8,707,537千円（前年同期比13.7%増）となりました。

[その他事業]

その他事業においては、平成25年11月より開始した「三越伊勢丹エムアイデリ」の物流サービス等の受託を契機に、当社が保有するアセット・ノウハウを活用し、他社に対し、食品を主な取り扱い商材として三温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の物流機能等を提供する事業を、「オイシックスフルフィルメントサービス（略称：オイフル）」として本格的に展開しており、新規クライアントの開拓に注力しております。

また、店舗事業においては、小規模店の恵比寿店・中規模店の吉祥寺店に加え、他社が運営する実店舗型スーパーにOisix専用コーナーを設ける「Shop in Shop」の取り組みが順調に拡大しており、平成27年9月末現在、17店舗で展開しております。

一方で、関連会社である株式会社ごちまるの業態変更による受託収入の減少などもあり、当第2四半期累計期間におけるその他事業の売上高は667,775千円（前年同期比5.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して189,330千円増加し、6,520,850千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ122,107千円増加し、5,183,395千円となりました。これは主に現金及び預金の増加134,887千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ67,223千円増加し、1,337,455千円となりました。これは、有形固定資産の増加18,093千円、無形固定資産の増加60,071千円、投資その他の資産の減少10,941千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して17,321千円減少し、2,536,625千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ16,511千円減少し、2,463,905千円となりました。これは主に未払金の増加45,094千円、その他の減少69,662千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ810千円減少し、72,719千円となりました。これは、資産除去債務の増加6,499千円とその他の減少7,309千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して206,651千円増加し、3,984,224千円となりました。これは、資本金の増加14,361千円、資本剰余金の増加14,345千円、四半期純利益177,944千円の計上によるものです。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より134,887千円増加し、2,794,289千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、260,669千円（前年同期は13,517千円の支出）となりました。これは主に税引前四半期純利益279,238千円、減価償却費88,291千円などによる収入及び非現金支出費用・損失と、法人税等の支払額94,576千円などの支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、152,706千円（前年同期は154,813千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出36,920千円、無形固定資産の取得による支出120,919千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、26,920千円（前年同期は14,874千円の収入）となりました。これは主に株式の発行による収入27,453千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日付「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました平成28年3月期通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,659,402	2,794,289
売掛金	1,785,770	1,758,641
商品及び製品	280,725	295,845
仕掛品	4,447	22,897
原材料及び貯蔵品	22,240	32,873
未収入金	266,975	239,737
その他	131,545	128,403
貸倒引当金	△89,819	△89,293
流動資産合計	5,061,287	5,183,395
固定資産		
有形固定資産	484,757	502,851
無形固定資産	378,415	438,487
投資その他の資産	407,058	396,116
固定資産合計	1,270,231	1,337,455
資産合計	6,331,519	6,520,850
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,207,066	1,204,595
未払金	801,134	846,228
未払法人税等	103,599	109,219
ポイント引当金	74,373	79,281
その他	294,243	224,581
流動負債合計	2,480,416	2,463,905
固定負債		
資産除去債務	59,702	66,201
その他	13,827	6,517
固定負債合計	73,529	72,719
負債合計	2,553,946	2,536,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,918	900,280
資本剰余金	640,631	654,977
利益剰余金	2,251,023	2,428,967
株主資本合計	3,777,573	3,984,224
純資産合計	3,777,573	3,984,224
負債純資産合計	6,331,519	6,520,850

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30日)
売上高	8,366,232	9,375,312
売上原価	4,387,857	4,836,730
売上総利益	3,978,374	4,538,581
販売費及び一般管理費	3,888,650	4,277,069
営業利益	89,723	261,512
営業外収益		
受取利息	223	243
受取配当金	-	4,230
受取補償金	3,910	3,023
その他	8,152	11,623
営業外収益合計	12,285	19,120
営業外費用		
支払利息	20	15
株式交付費	1,034	1,253
その他	488	124
営業外費用合計	1,543	1,394
経常利益	100,465	279,238
税引前四半期純利益	100,465	279,238
法人税、住民税及び事業税	31,836	97,450
法人税等調整額	12,746	3,843
法人税等合計	44,583	101,293
四半期純利益	55,882	177,944

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	100,465	279,238
減価償却費	78,146	88,291
のれん償却額	12,236	12,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	89	△525
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△15,817	4,907
受取利息及び受取配当金	△223	△4,473
支払利息	20	15
株式交付費	1,034	1,253
為替差損益 (△は益)	△234	△3
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△2,777
売上債権の増減額 (△は増加)	△97,386	27,128
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,010	△44,203
未収入金の増減額 (△は増加)	△50,070	27,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	77,596	△2,471
未払金の増減額 (△は減少)	102,119	33,222
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,586	△88,351
その他	8,307	20,972
小計	185,859	351,698
利息及び配当金の受取額	179	3,563
利息の支払額	△20	△15
法人税等の支払額	△199,537	△94,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,517	260,669
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,384	△36,920
無形固定資産の取得による支出	△85,044	△120,919
有形固定資産の売却による収入	-	2,777
投資有価証券の取得による支出	△5,882	-
関係会社株式の取得による支出	△48,000	-
貸付金の回収による収入	182	441
敷金及び保証金の差入による支出	△4,471	-
敷金及び保証金の回収による収入	454	1,914
その他	△1,667	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,813	△152,706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△503	△532
株式の発行による収入	15,378	27,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,874	26,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	234	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△153,222	134,887
現金及び現金同等物の期首残高	2,378,906	2,659,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,225,683	2,794,289

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う EC 事業とその他事業から構成されておりますが、EC 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う EC 事業とその他事業から構成されておりますが、EC 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。